



2018.05.30

2018年5月26日（土） チーム神於山 活動報告

シャープ社友会
チーム神於山 真砂 記

■活動日：2018年5月26日（土） 10：00～15：00

■参加者：チーム神於山 正会員 8名

■活動内容

今回の参加人数は8名でしたが、作業を分担して進めたので、

- ・フクロウについては、巣内の状況確認、巣内のビデオ撮り、トレイルカメラの録画内容の確認と再設置、岸和田環境フェア2018に参考出品するための基地近くの巣箱降ろしを、
 - ・またミカンについては、水遣り、つぼみ摘み、ゴマダラカミキリ対策として幹巻きテープ巻きを、
 - ・更に雨水の収集については、倉庫の波板屋根の雨水収集装置作り、暗渠と薪置き場の雨水用のドラム缶の水の貯水槽への移動等、多くの作業をこなすことができました。
- 活動頂いた8名の皆さん、お疲れ様でした。
- ・全員それぞれの作業に専念したため、残念ながら、活動状況の写真が撮れませんでした。ご容赦ください。

■活動頂いた8名の皆さん

落ちてくるケムシ対策で張ったターフテントの中で一枚。



■フクロウについて-1 No.1の巣は雛が巣立って空き家に。No.2の巣箱は卵が無く、雛が一羽居ました。

- ・DNA調査が済んだNo.1の巣箱は空でしたから、雛は巣立ったようです。
- ・巣立った雛の動きを撮るために、19日にNo.1の巣箱を架けた木の根元あたりを狙ってトレイルカメラを仕掛けておいたのですが、残念ながら雛は映っていませんでした。
下まで落ちずに滑空して近い木にとまったか、画角が外れたのかもかもしれません
- ・No.2の巣箱は、5月15日に卵一個と雛一羽を確認していましたが、今回は、卵は無く、雛が一羽居るのを確認しました。
- ・想像ですが、5月15日に確認した雛は既に巣立ち、今回確認した雛は卵が孵化したものかもしれません。
- ・そうすると今居る雛のDNAサンプル取りを急ぐ必要があります。

補足：当日、府大の平井准教授、日本バードレスキュー協会の村濱さんに、No.2の雛のDNA調査のためのサンプル取得をお願いし、5月29日（火）に無事サンプルの取得は終わりました。

■フクロウについて-2 きしわだ環境フェア 2018 展示用に、基地近くの木に仕掛けた巣箱を降ろしました。



- 左は岡森さんの車に収まった巣箱です。
- 降ろした巣箱は上穴式で、営巣した横穴式ではありませんので、営巣した巣箱は写真パネルで紹介するつもりです。
- 展示は、カメラもそのまま付けたままにし、雛が取り出しやすいように側面に付けた開きドアなど、色々な工夫が判るようにしたいと思っています。
- 岸和田市が丘陵地で設置しているのは上穴式のみで、順調に営巣していますが、両方設置している神於山では、横穴式にしか営巣していません。
- 即断はできませんが、フクロウにしてみればどちらかというともやはり雨が入らない構造の方が良いのかもしれません。(これ自画自賛です)

■ミカンについて 水をやり、つぼみを摘み、ゴマダラカミキリ対策として幹巻きテープを巻きました。



- 2年物の苗でしたから早々とつぼみを付けましたが、今はしっかり根付き、幹や枝を伸ばしてもらう時期ですから、勿体ない気もしますがつぼみは全て摘みました。
- 幹巻きテープは、クリに付いたゴマダラカミキリは柑橘系にも害虫なので採る処置です。

■雨水の利用について 廃棄塩ビ管を利用して直接貯水槽に流れ込む様にしました。



- 波板屋根には粗大ごみで捨てられていた塩ビ管を利用して、トコを付けていましたが、同じ塩ビ管の端材を利用してトコから直接貯水槽に穴水が流れ込むようにしました。
- 貯水槽への注水口には、ミカン袋を利用したゴミ受けを付けています。細かな配慮です。

以上